

ルーヴァン・カトリック大学 サンルイ ブリュッセル校（ベルギー）

6月は交換留学生生活最後の1か月となり、期末試験と帰国準備、そして友人たちとの最後の時間を過ごした、とても充実した1か月だった。

まず、大学では期末試験が行われた。筆記試験では、自分が思っていたように解答を書くことができず、悔しさが残る結果となった。

一方で、オーラル試験では事前にしっかりと対策を重ねたこともあり、授業で学んだ内容を自分の言葉で説明することができた。ただ知識を暗記するのではなく、自分自身の考えを交えながら伝えることができたため、自分自身の成長を実感する機会にもなった。

高麗大学校〈世宗キャンパス〉（韓国）

今月の最も印象的な出来事は、留学生の友人たちとお別れでした。一年間同じ場所で学び、共に生活してきた友人たちは、私にとってかけがえのない存在となっていました。授業だけでなく、休日に一緒に出かけたり、ご飯を食べたり、勉強を教え合ったりと、多くの時間を共有してきました。

そのため、最後の日が近づくにつれて寂しが増していきました。お別れの日には写真を撮ったり、お互いにメッセージを書いたりして思い出を振り返りました。一番親しかったフランス人の友人には、アルバムを作りました。

別れは悲しかったですが、この一年間で築いた友情はこれからも続いていくと思います。国籍や文化が異なる人々と出会い、交流できたことは留学だからこそ得られた貴重な経験でした。

ベネチア大学（イタリア）

この10か月間、大変なことがたくさんあり、辛いこともたくさんありましたが、その分楽しいことも幸せだと思える瞬間もたくさんありました。留学を通して関わってくれたすべての人に感謝を伝えたいですが、第一に遠くから見守ってくれ、資金を出してくれた両親に感謝をしたいと思います。また、日本から会いに来てくれた友人たちにも感謝を伝えたいです。この10か月間で人生のかけがえのない結晶が出来上がったと思います。一生忘れることのない大切な10か月間でした。

自分自身も、この10か月間ですごく成長できたと思います。経験しただけで終わらず、この経験を今後の人生でどのように活かせるか、この10か月間で感動したこと、経験したことを整理して振り返って時間をかけて考えていきたいと思っています。10か月間、支えてくださりありがとうございました。

エトヴェシュ・ローランド大学（ハンガリー）

ハンガリーは内陸国であり、海がありません。しかし「ハンガリーの海」とも呼ばれる大きなバラトン湖があり、たくさんのハンガリー人がそこに泳ぎに行きます。

私もハンガリー人の夏の過ごし方を体験するべく、バラトン湖に泳ぎに行きました！ブダペストから泳げるビーチがあるSiofokという場所までは列車で1時間半で到着します。

バラトン湖は非常に浅く、陸から20~30mほどは膝下ほどの水位が続いていました。水は綺麗で水温もちょうどよく、泳ぐのがとても気持ち良かったです！



ゲーテ大学（ドイツ）

大学の合唱団に入っていて毎週水曜日に練習があるのですが、来週再び本番があるので力を入れて頑張っています。今回は、フランス語の歌なのですが、全く発音が分からないので、グーグル翻訳を使いながら発音を学んでいます。ドイツに来てから、ドイツ語・英語・フランス語・スペイン語など、様々な言語を聞いて、言語の面白さを感じました。

サマーインターンの応募をするなど、就活も始めました。今まで、進路にかなり悩んでいたのですが、なんでもとりあえず手をつけてから判断し、頭でっかちにならないようにする、をモットーにできる限りで頑張ろうと思います。

ウィーン大学（オーストリア）

今月は第3週から6つのテストとドイツ語C1の資格試験が重なり、息をつく間もない中過ごしました。グループワークのポスター発表やプログラミングなど、テストとは関係のない授業でこなすことも多く、横市での大学生活をぎゅっと濃くしたような期間だったと思います。

冬セメスターに比べて、ドイツ語で勉強する事にもずいぶん慣れ、テスト勉強の要領もつかめるようになりました。前学期は、試験形式がほとんど選択式問題だったため、自分の言葉で記述する必要はありませんでしたが、今回は6つの内4つが記述式であり、その対策をする中で更に語学が鍛えられたと思います。留学前に目標にしていたドイツ語C1の資格に関しては、20日に試験を終え、結果はまだ分かりませんが全力を尽くせたと思います。

このレポートを書いているのは6月30日ですが、これまで受けた試験5つの内2つは結果が出ており、2つとも合格でした。